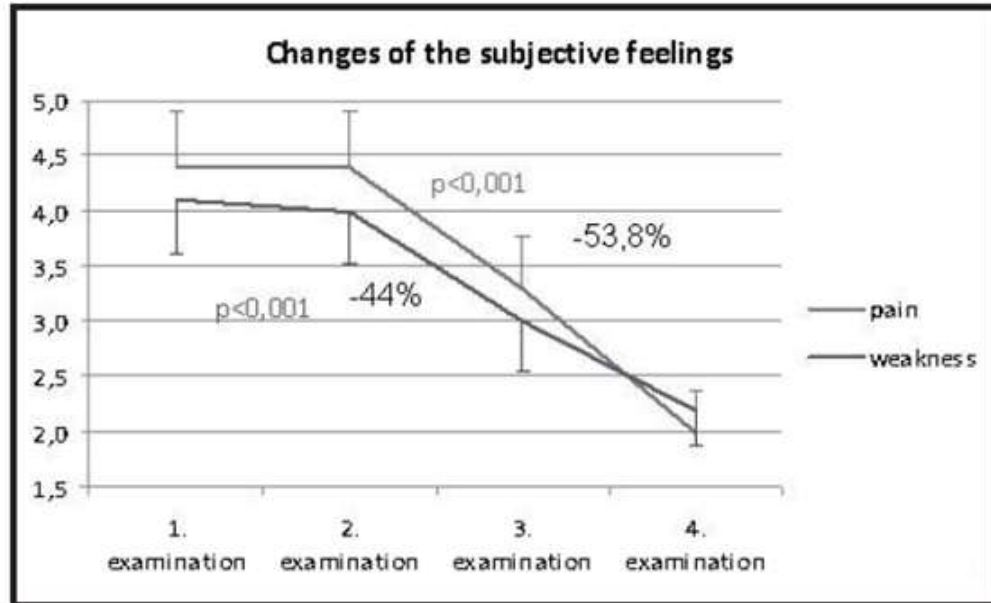


スタチン服用者に対する還元型CoQ10による 筋痛症の改善



検査時期（グラフの横軸）

- 1：摂取開始1か月前
- 2：摂取開始直前
- 3：摂取3か月
- 4：摂取6か月

【試験方法】

- 試験デザイン：オープンラベル
- 被験者：スタチン服用者 28名（男：女 = 10：18）
(60.6±10.7歳)

※平均3年間服用しており、軽/中等度の筋痛を有する者

試験中は服薬内容を変更しない

アトルバスタチン（5、10、20mg/日）、ロスバスタチン（5、10、20、40mg/日）、シンバスタチン（20mg/日）、フラバスタチン（80mg/日）、またはロバスタチン（40mg/日）を服用

- 食品：6か月間摂取 還元型CoQ10（60mg/日）
- 評価：筋痛・筋力（VAS）、血液検査、血中CoQ10濃度

【結果】

- ・ 筋痛を53.8%、筋力低下を44%改善した（いずれも $p < 0.0001$ ）。
- ・ （掲載していないが）血中Apo-AI（動脈硬化抑制タンパク）を29%（ $P < 0.0001$ ）、LDL-コレステロール（動脈硬化関連分子）も13%（ $P < 0.05$ ）改善した。また、血中CoQ10濃度も194%増加した（0.90 → 2.66 $\mu\text{g/mL}$. $p < 0.0001$ ）。

(Zlatohlavek L et al, Neuroendocrinol Lett.2012;33: 98-101 より作成)